

感性で楽しめばOK！でも、ルールはポイントを押さえて知っておこう。

ポジション名については、図に示したので参考にしてください。フットサルにおけるポジション名の横に、サッカーでの役割を当てはめた場合のポジションも示しておいたので、役割を理解するのにお役立てください。

フットサルは、基本的に室内で行ないます。サッカーとルールの基本は同じ。手を使わず、足や頭、身体を使ってボールを前に運び、ゴールを決め、得点差を争うゲーム。しかし、一度見ればまったく違う競技であることがわかります。ピッチが狭いことからスピーディなゲーム展開が多く、選手には素早い判断が求められます。そしてプレー自体が味方同士の密なコンビネーションの連続で成り立っているのも魅力。このスピード感と戦術的なプレーはフットサルを観る時の注目ポイントです。

サッカーを見慣れている方にとっては、ルールの違う点を覚えてしまうのが近道でしょう。この辺りをチェックしておけばフットサルも楽しめるはず、という大まかな点を紹介しておきますので、観戦にお役立てください。

競技時間は20分ハーフ。プレイングタイムで計測されるので、ボールが外に出た時は時計が止まります。

出場人数はゴレイロも合わせて5人。オフサイドがないので、ポジションはどこにしようパスが受けられます。ボールがピッチから外に出た時は、キックインで中に入れますが、ボールをセットしてから4秒以内に蹴らないと相手ボールになってしまいます。また、交代はいつでも何人でも何回でもOK。チームの戦術にもよりますが、かなり頻繁に行なわれます。フィールドプレーヤーがめまぐるしく変わりますが、その組み合わせなども見所のひとつです。

フィジカルコンタクトの反則基準はサッカーと同様です。唯一サッカーと違っていたスライディングタックルも2010年から認められたので、エキサイティングなシーンが増えています。とはいえ、直接フリーキックで罰せられる反則の数を、チーム毎に数えて累積し、6つめ以降は相手チームに、第2ペナルティマークから壁無しの直接フリーキックが与えられてしまうので注意が必要です。

もうひとつ覚えておきたいのがパワープレー。リスクを冒してでも1点を取りたい時に行なうのはサッカーと同じですが、本来ゴレイロ(GK)である選手と交代してフィールドプレーヤーがゴレイロのユニフォームを着て出場します。ゴレイロのユニフォームを着た選手だけは、ペナルティエリアに戻った時は手でボールを扱えます。数的有利を作り出すための戦術のひとつです。

ここで紹介したルールは、何度か見ていれば自然に覚える最小限のものですが、知っていればより楽しめます。でも、何よりもゴールをたくさん奪ったチームが勝ち！という基本的なことだけ知っていれば十分楽しめるのがフットサル。そこはサッカーと共通です。

